

国際ロータリー会長

ホルガー・クナー

第2790地区ガバナー

漆原 摂子

第3グループガバナー補佐

藤澤 武彦

千葉東ロータリークラブ

会長 鳴海 寿裕

幹事 豊田 雅光

第1259回 Weekly Report

2020-2021年度 Chiba-Higashi Rotary Club

会長挨拶 鳴海寿裕 会長



皆さん、こんばんは！！

本日はガバナー公式訪問です。

2790地区ガバナー 漆原摂子様、第3グループガバナー補佐 藤澤武彦様、地区幹事長 勝浦 RC 吉田理愛様、ようこそ千葉東ロータリークラブにお越しくださいました。千葉東ロータリークラブ会員一同、心より御礼申し上げます。併せてロータリー奉仕活動にようしくご指導のほどお願い致します。

さて、早いもので8月も今日で終わります。今年は今日、8月31日が二百十日にあたります。農家の3大厄日の一つです。立春から数えて210日目です。世間では台風の特異日などと言われております。

清少納言は、「枕草子」で「野分のまたの日こそ いみじうあはれにをかしけれ」と表現しました。野分とは台風のことですね。台風は、英語の typhoon から音を拝借した当て字です。実際に台風の特異日であるかは諸説ありますが、この時期は稲が開花する頃で農家にとっては非常に大切な時期でした。ここで台風等が来ると、農作物に甚大な被害を与えてしまいます。そこで過去の経験から決して気を緩めずに過ごすようにと、この日を厄日としたというのが由来らしいです。最近あまり聞きませんが、手形サイトが7か月なんていう長期のものを隠語で「台風手形」といわれています。それもまた二百十日が由来らしいです。

明日、9月1日は防災の日になりますが、関東大震災が起こった日です。そして9月は、室戸台風、枕崎台

風、伊勢湾台風という3大台風もありました。地震や台風など大きな災害があり多くの犠牲者が出ています。昨年の台風15号はまだ記憶に新しいところです。コロナ禍での大変な時期を迎えますが、私たちロータリアンはお互いの健康・安全を第一に考えつつ、ロータリアンとして他人を思いやり他人の為になる奉仕の理念の実践に取り組んでいかなければならないと思います。

本日のお客様

国際ロータリー第2790地区ガバナー

漆原 摂子様

第2790地区第3グループ ガバナー補佐

藤澤 武彦様

第2790地区 地区幹事長 勝浦 RC

吉田 理愛様

ようこそ、お越しくださいました！

幹事報告 豊田雅光 幹事



1、合同幹事会からの報告

1) RYLA(青少年指導者養成プログラム)実行委員推薦のお願い

ガバナー補佐より、各グループ数名を9月理事会で推薦者を検討してほしいと要望がありました。9/7の理事会で審議事項といたします。

2) 情報研修会のご案内

既に何度かお伝えしていますが改めてご連絡いたします。

日時：11/26 14:30～三井ガーデンホテル。
ZOOMをつないで参加も可能です。

- 2、国際ロータリー第2790地区からの案内
RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）より、
卒後コース開催の案内です。
RLI-I・II・IIIを終了予定のかたを対象です。
日時 2020年9月16日（水曜）
13:30～18:00まで
場所 千葉市民会館 3F 特別会議室
当クラブでの対象者は鳴海会長のみです。
RLI-I・II・IIIのスケジュールを今後も連絡して
まいりますので参加のご検討をお願い致します

ガバナー卓話



国際ロータリー第2790地区ガバナー
漆原 摂子様

7月14日付ガバナー及び2019-20年度地区戦略計画委員会よりクラブオールにて発信致しました「地区グループ再編成について」において、来年、2021年7月1日施行「RID2790新グループ構成」についてご案内しました。こちらにつきましては会員の方々より纒々ご意見をいただいておりますが、後程クラブ協議会にてご説明をさせていただきます。それでは卓話をさせていただきます。直近開催のRI理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

1. 新型コロナパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
2. まずは現状の会員の維持。
3. このような状況下、オンラインツールを利用した会合（理事会や例会、委員会など）に慣れて、積極的に活用しようということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようにお願いします。機器の操作に不慣れな会員さんには、思いやりの心で丁寧に教えてあげていただきたいと思います。また、RI理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この図の真ん中の絵がそれを示しています。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のひとつに加わります。この申請は、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します。今年度のRI会長であるホルガー・クナーク氏はドイツからは初めてのRI会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されていると思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常（ニューノーマル）」に適應することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、RI会長の指示ですのでお話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。
2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。
3. 新会員を慎重に選びましょう。
4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントの一つ一つを見てください。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。また衛星クラブの設立、そして現在のコロナ禍の状況下、Eクラブの設立も有効でしょう。このような活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、RIの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかわりを促すという、RIの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思います。

3. 新会員を慎重に選びましょう。クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一

生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め（これもR Iの4つの行動計画のひとつです）、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていただくことも一考です。諸岡直前ガバナーが提唱された3, 3 3 3運動は目標としながら、まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントをこちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んでまいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝えし、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増、現在85名が罹患しています。一方これらの国では、今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。R Iの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えているのです。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。4/29に配信しましたYouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサーヴィスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、R I事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するということは、先程から話に出ております、R Iの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。他人のためになることをする、The Ideal Of Serviceの実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次のThe Ideal of Serviceの

実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。クラブ会長様には、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの委員長の皆様には、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長におかれましては、The Ideal of Serviceを実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょと申し上げて参りました。一方R Iは、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画（中長期的計画）をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものが 있습니다。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切に、自分が周囲に役立つことをする」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、Rの5大奉仕部門においてはその実践に役立つこと、そのような人格づくりが第一かと思います。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられ

るような、そんな人間を目指しています。
個人を確立し、クラブ活動に貢献することで、4つの行動計画即ち地域や世界にインパクトをもたらす、会員の基盤は広がり、親睦を通じて会員はより積極的に関わり、変化に呼応する適応力を高める。クラブはそのような人づくりの場と捉えております。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。
ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX報告

鳴海会長

本日はクラブ協議会、漆原ガバナーありがとうございました。

豊田会員

漆原様、クラブ協議会ありがとうございました。

穴倉会員

漆原ガバナー、藤澤ガバナー補佐のお二人にはご指導よろしくお願いします。本日はありがとうございました。

合計 16,000 円

累計 141,000 円

例会終了となり引き続きクラブ協議会となります



クラブ協議会

会長中期長期計画発表 鳴海会長

それでは、2020-2021 年度 クラブ協議会を開会します。
ガバナー宜しくお願い致します。
中長期目標としましては、一つ目に 2025 年までに会員数 40 名を目指したいと思います。
今、千葉東ロータリークラブは会員数が少ないという現状であります。
現会員数を維持することは大切な事と思います。ロータリーを楽しむべく積極的にロータリーにかかわり、ロータリー活動に参加していくことで退会防止をしていきたいと思っています。また、自分のクラブに合った慎重な会員選びをしていきたいと思っています。自分のクラブに合った新会員に入会していただきたい。その新入会員にも生涯のロータリアンになっていただきたい。価値観を共有し、高潔な心を持つ人のコミュニティにするべく、単なる会員数を増強するだけではないようにしていきたいと思っています。

女性会員も松澤年度には、6 名いましたが、今は 1 名だけになってしまっています。積極的に増強していきたいと思っています。

そして新生活様式に合わせて、オンライン形式での例会等も多く取り入れていきたいと思っています。オンライン形式での例会等にも会員全員参加を目指し、会員の結びつきをより一層強くしていきたいと思っています。

二つ目に職業奉仕活動を行い地域社会に貢献します。

ロータリーの職業奉仕の理念は「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」です。そして、ロータリーの職業奉仕の実践原理である「職業奉仕に徹する者は最大の利益を得る」という言葉こそがロータリアンにとって永続的に利益を得る唯一の方法であることを理解していかなければならないと思います。人として人間としての正しく歩む道をまもり職業を営むことが世のため人の為の奉仕となります。職業の心と、奉仕の心をひとつの心として「世のため人の為の奉仕する心を持って職業を営む」真のロータリーの姿をもっともっと多く、世の人に知ってもらふ機会の扉を開いていきたいと思っています。ロータリーには社会貢献のチャンスがいっぱいあることも広く地域社会に知っていただきたいと思っています。

地域社会のニーズを調べてクラブ会員が参加していける事を、このコロナ禍でも出来る事を実践していきたいと思っています。

各地区や米山奨学会の学友もマスクやフェイスシールド等の寄付をされた所もあったようです。コロナ対策等も含めたニーズに合わせてクラブとして何か出来る事はないかと、アンテナを張り巡らしていきたいと思っています。

三つ目に、研修への参加を支援し知識の向上を図ります。ロータリアンとしての価値を理解し、知識の向上を図るために「ロータリーの基礎知識」を購入し、クラブ会員での読み合わせ等を行うプログラムを作成し、実践していきたいと思っています。会員全員で熟読することにより深くロータリーを理解し、知識の向上を図りたいと思っています。

ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) や、各研修への積極的な参加を支援していきたいと思っています。そして、リーダーシップへの道を切り拓いていくための扉を開いていきたいと思っています。

千葉東ロータリークラブ中長期戦略計画



クラブ管理運営委員長 松澤須美子 委員長

本日は第 2790 地区ガバナー漆原摂子様をお迎えしてのクラブ協議会です。

丁度ガバナー月信 8 月号に漆原ガバナーの記事が載っておりますのでご紹介させていただきます。

「会員増強・新クラブ結成推進月間によせて～まずは今の仲間を大切に！～」のタイトルの中で、クラブが主役＝会員が主役の部分を読み上げます。

私は今年度地区活動方針につき、「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」というスローガンを提唱致しました。そのためには、会員お 1 人お 1 人が主役となり、ロータリーを楽しんでいただかなければなりません。折角入会しても 3 年から 5 年で退会してしまう会員が多いのは、ロータリーで得るもの、即ち自己研鑽の機会であり、友情であり、地域や世界で他人の為になることをすることの素晴らしさ、これらを体験する前に、離れていってしまうのではないのでしょうか。と記載されております。

以上のことを踏まえて、今後千葉東ロータリークラブは委員会運営に携わって参りたいと思います。

さて、クラブ管理運営委員会は親睦活動委員会とクラブ研修プログラム委員会の 2 つを統括しておりますが、活動方針と活動計画について述べさせていただきます。

○ 活動方針

- ・会長方針に沿って各委員会活動を活発化させる
- ・会員増強を推進し、特に女性会員の増強を計る
- ・各委員会の活動をサポートする

○ 活動計画

- ・各委員会活動を円滑に実施できるようサポートする
- ・積極的にクラブ活動ができるように、新入会員への研修会等を実施する
- ・クラブ研修委員会による炉辺会議(年 4 回)において、会員相互の親睦を深めると共にロータリーの知識向上に努める



会長エレクト 江上俊彦 会長エレクト

私のロータリーモーメント



クラブ研修委員長 武田康 委員長



職業奉仕委員長 池田銀蔵 委員長



加藤会員

入会し 28 年が経過しました、当初は「多くの人に会う」という思いで入会しロータリー活動とはなんだろうかと思いましたが、大きな転換期となったのが 2004-2005 年度ガバナー補佐を拝命することにより、ロータリー活動ということを深く勉強することで、多くの知識を得ることができた。



穴倉会員

私が千葉東RCに入会して20年余が経過しました。その当時は、ロータリーの右も左もわからず、とにかくにも出席義務と会費納入義務を果たすことだけでよいと思っていました。学生運動風に言えば「ノンポリ」会員でした。誰しも経験することだと思いますが、クラブの委員長や理事を任命され、否が応でも勉強する必要に迫られ、ロータリー用語やロータリーの仕組みなどを学ぶことになりました。入会10年後からは、会長、幹事、そして一昨年は第3グループのガバナー補佐（AG）を務めました。井の中の蛙が大海に飛び込んだようなものです。しかし、グループ内の各クラブの多くのメンバーが私を暖かく迎えてくれ、多くの知り合いを得ることができました。

AGは地区と各クラブの伝達役ではありますが、各クラブ持ち回りで合同幹事会を毎月開催し、クラブ幹事の皆さんとの話し合いを通じて人間関係を深めることができました。今後は、合同幹事会のメンバーがクラブ会長になっていただくことをきたいしています



千田会員

RCに入会をし14年が経ちまして何も分からないこそ毎週例会に参加をし学んできました。地区も幹事も経験をさせて頂き、他クラブとの交流をしてスキルとモチベーションの高さに驚きさせられました。RCの始まりと今現在の時代背景とは変われど本質は変わらないと思いますので、今こそ学んだ事を実戦して行くべきと考えています。経営者は、孤独です。ですが手を組めばたくさんの発想が生まれ行動出来ます。個性豊かな思考をまとめる地区の方々、ガバナーのリーダーシップにとっても興味があります。年令に関係なくどんな風に人を引き付けられるのか？正しい判断をして人が集まるのか？それは、これからの自分自身の課題でもあり、本物の凄い人と出会ってみたいです。そんな学びができる場がロータリーだと思います。



田中会員

千葉は縁もゆかりない土地に29歳で横浜からトラック5台3人から運送業を開業しました。2020年度規模も拡大し車両台数32台34人になりました。千葉東ロータリークラブの入会は3密が大好きな尊敬できる先輩、士業では有名な先生の勧めもあり、程よい緊張感ある当クラブに入会しました。転機となったとは入会1年度目のタイの国際大会への参加でした。王室関係者によるスピーチなどロータリーはすごいところなんだと思ったことだったと、、、偉大な先輩方は2013年手続要覧など覚えておられ、実行しているブレない団体であることを誇りに活動していきたい。



創 立：1991 年1月21日
認 証：1991 年3月6日
例会場：ホテルニューオータニ幕張
点 鐘：毎月曜日 18：30

事務局：千葉市稲毛区穴川3-5-27 上総ビル 303
T E L：043(251)2790 FAX：043(251)2726
Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp
R L：<http://www.chiba-higashi.jp/>

